

「人々の生活を守る仕事」

日時：令和4年7月29日（金）
入門先：富山県警察本部及び科学捜査研究所
講師：富山県警察本部総務課広報室
富山県警察本部鑑識課・科学捜査研究所のみなさん

志望動機

新聞やニュースを見ていると、毎日たくさんの犯罪について報道されています。それらは私たちの生活を脅かすものであり、こういった犯罪を0にはならないとしても少しでも減らしていかなければならないと私は考えています。この大切な役割に生活や命を懸けて取り組んでおられるのが警察官のみなさんです。私は、警察官の方々が日ごろどのように業務についておられ、不測の事態に備えてどのような準備や訓練等をしておられるのかを知りたいと考えました。

短期入門の内容

（午前の部）

- ・ 警察の業務説明
- ・ 制服試着
- ・ パトカーの乗車体験

※県警本部食堂にて昼食体験

（午後の部）

- ・ 心理・法医・化学・文書鑑定の説明、
模擬検査の体験等
- ・ 指紋の説明、採取体験等

※反省検討会



★午前の部

警察の業務について

「警察内各組織は、警務部・生活安全部・地域部・刑事部・交通部・警備部及び警察学校の7つの組織に分かれ、それぞれ役割を分担しながら業務にあたっている」ことを教えていただきました。犯罪の捜査をする刑事部や道路の安全を守る交通部等は知っていましたが、他にもたくさんの部署に分かれていることに驚きました。逆に言えば、警察の仕事はそれだけ多岐に渡っているということが分かりました。

次に女性警官の人数について聞きました。思っていたよりも大変少なく感じました。今後は今以上に女性の社会進出が増え、女性の官僚も増えてくると思うので、女性警察官や女性 SP がさらに必要になってくるのではないかと思います。

また、交番の勤務体制は「**基本的には 3 交代制で、24 時間勤務**」となるそうです。当番日・非番日・公休日という 3 日で 1 サイクルを 365 日繰り返すということを教えていただき、3 日に 1 回という休みが多く感じますが、実際は一日目の引継ぎ処理で半日ほどかかることも多く、さらに 24 時間連続で勤務することの大変さはお話を聞いても大変そうでした。

警察の制服について

実際に警察官の制服を試着させていただきました。制服の上から防弾ベストを着用することもあるそうです。また、犯人を取り押さえ、確保する際に使用する警棒や手錠、防盾（ライオットシールド）についても実際に手にすることができました。警棒は、鉄でできているので大変頑丈で、何よりもとても重かったです。手錠も大変頑丈に作られていることが、触ってみてよく分かりました。しかし、すばやくかけられるような工夫もなされていて大変驚きました。



パトカー試乗体験について

つぎにパトロールカーに実際に試乗させていただきました。初めてパトカーに乗るにあたり、パトランプはどのように点灯させているのか、他のパトカーとの連絡方法等について聞きたいと考えていました。

実際にパトカーに乗ってみて、事故や犯罪に対応するための様々な装備が備えられていてすごいなと思いました。さすまたは、学校にあるものと形が少し違っていて、より実践的なものに感じました。サイレンも鳴らしてもらい、近くで聞けてよかったです。



県警本部食堂について

県警本部の10階に食堂があり、そこでみなさんと一緒に食事をとらせていただきました。和食が中心のメニューでとてもおいしかったです。



★午後の部

鑑識・科捜研の業務について

鑑識・科学捜査研究所では、犯罪の立証に不可欠な証拠を科学の力で明らかにすることが主な役割です。鑑識・科捜研にはいくつかの鑑定室があり、様々な分野の専門的な技術によって、犯罪の早期の解決に向けて力を尽くしておられます。今回は、ポリグラフ・指紋鑑定・法医鑑定等様々な鑑定を体験することができました。

① 心理鑑定のポリグラフ検査

今回はトランプの数字を当てる体験をしました。トランプを1枚選んで犯人役の方にそれを覚えていただき、5つの質問をしました。一つ一つ質問をしていき、当たりのカードのときには、ポリグラフが反応します。ポリグラフは、心拍数、汗の分泌等によって反応を確かめるものです。あることは知っていましたが、このように確実に反応することが分かり、とても驚きました。

② 3D顔画像鑑定

続いて、法医鑑定にあたる、3D顔画像鑑定を行いました。3D画像を撮影し、実際の顔とコンピュータ上で重ね合わせ、同じかどうかを判断する装置です。例えば整形手術をしていたとしても、骨格やそれぞれの顔のパーツから判別できるそうです。



③ 化学鑑定

化学鑑定では、薬物が麻薬かどうかを確かめるための予試験を体験しました。この鑑定では、鑑定薬を使って、様々な種類の粉が違法な薬物でないかを簡単に確かめることができます。基本的には容器が2セットになっているそうです。これは、鑑定間違いを無くすための工夫であり、大切なことからこそ、慎重に行っておられることが分かりました。



④ 文書鑑定

文書鑑定では、書かれた文字の上を別のインクで塗りつぶしたとしても、特殊なライトの光を当てることによって透過する技術を体験しました。このライトがどのような仕組みになっているのかが気になりました。



また、お金の鑑定についても説明をしていただきました。日本国内でつくられている貨幣や紙幣にはそれぞれ最新技術が使われており、偽造を防止する様々な工夫が施されています。知ってはいましたが、とても細かいものまであり、世界からも日本の紙幣製造の技術が注目されているというのうなずけました。

⑤ 指紋鑑定

最後は指紋鑑定です。私はこの指紋鑑定に以前から興味があり、自分でも検査キットを購入して試してみたこともありました。しかし、本物の指紋鑑定はやはり専門的で、指紋をくっきりと写し取ることができました。個人を判別するには指紋や掌紋、DNA型等がありますが、指紋鑑定がやはり現在でも一番多く行われているそうです。



★入門を終えて

県警本部における鑑識課や科学捜査研究所での体験を通して、一生懸命業務へ取り組む警察官の方々の姿勢や私たちの生活を守るための様々な工夫がなされていることが分かりました。特に心に残ったのは、様々な鑑定技術です。どの鑑定も、確実に証拠を残すために



様々な技術を取り入れられたものとなっていました。これまではテレビでしか見たことがないものばかりであったため、大変貴重な機会となりました。心理鑑定で行ったポリグラフは特に興味深く、今後もポリグラフについて調べたり、心理学を勉強したりしていこうと思いました。

今回、県警本部総務課や鑑識課、科学捜査研究所等に所属する多くの警察官の皆様に変な分りやすく、そして優しく様々なことについて教えていただきました。私は今回の短期入門を通して、少しでも犯罪を減らしていきたいという思いと科学捜査の面白さから、警察官になりたいという思いを強めました。今後は、夢をかなえるために、学習や体力づくりに今以上に真剣に取り組んでいきたいと思っています。